

道をひらく！

103 事業所安全支援 鋼片工場通路デッキフラットストレート化対策

知多工場 棒鋼圧延課 ヤッターマンサークル 辻 将希

1 自己紹介



辻 将希 28歳 前職 介護職
親子で愛知製鋼好きな言葉は「道をひらく」
今回テーマリーダーとして立候補しました

2 サークル紹介



ヤッターマンサークル10名 向上心・資格取得に
力を入れており、レベルはCゾーン
更なるレベルアップを目指します

3 職場紹介



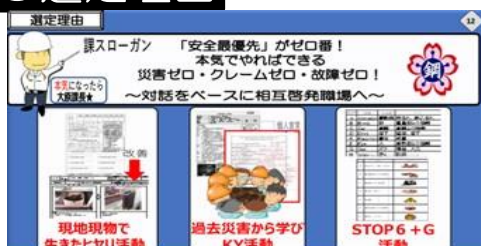
私達の職場は 製品になる前の母材鋼片を管理
母材品質の要として キズ取り生産計画・運搬・検査依頼
を行い事業所の鋼片精整工場で月10万T 流動してます

4 安全支援事業所紹介



鋼片精整工場4つの工程
ショット、磁粉探傷試験、サーボ、検査があり
事業所の請負作業になっています

5 選定理由



課方針で「安全最優先」がゼロ番！
本気でやればできる 災害0
3本柱の活動が打ち出されました
(現地現物で生きたヒヤリ・過去災害から学ぶKY・STOP6+GH)



安全支援事業所より過去2年連続で歩行災害発生
重大災害に繋がる前に取り組む必要があります
(ハインリッヒの法則より)

【サークルの紹介】	本部登録番号 64-69		本テーマの効果金額 20千円／月	
サークル名	ヤッターマン	フリガナ	ヤッターマン	結成年月 1968/9/1
会社名	愛知製鋼株式会社		フリガナ	アイチセイコウカブシキガイシャ
事業所名(部署名)	知多工場 棒鋼圧延課		フリガナ	チタコウジョウ ボウコウアツエンカ
発表者	辻 将希		フリガナ	ツジ ショウキ
メンバー構成 合計	10名(正社員 9名 パート・派遣 1名)		会合は就業時間	内・外・両方
平均年齢	38歳	平均勤続	16年	月当たりの会合回数 2回
本テーマ活動時間	'23年 10月 ~ 12月		一回当たりの会合時間	0.75時間
発表事例	1. 改善事例 2. 運営事例 3. 推進事例			
QCストーリー	1. 問題解決 2. 課題達成 3. 施策実行 4. QCストーリー以外()			
所属部門	1. 製造 2. 技術 3. 事務・販売・サービス・工場間接 4. 医療・福祉 5. その他()			
連絡担当者	辻 将希	所属	棒鋼圧延課	TEL (052)603-9341



私の職場は事務作業が7割で事務作業がメイン
事業所は現場作業がメインのため
連絡方法は
電話・無線・インターホン
(顔を合わせての対話 機会が少ない)
お互い距離感・温度差を感じており
私達も現地現物での対話が不足している
という意見が出ました

事業所支援の為
事業所の活動方針を確認



ヒヤリを大切にする 未然防止活動
クリーンで安全な場づくりへの支援として

STOP6+GHより層別
歩行ヒヤリが87件と多い事がわかりました
作業者との対話を世話人・リーダーが設置
ボード・リスト・マップで対話の見える化を行い



作業者との困り事について対話
デッキ通路④から87件中46件出ています
(22年度 事業所ヒヤリ提出実績)

デッキ通路④の状況を現地現物で確認
狭く・昇降があり 歩行しにくい(基準外)通路
(他のデッキ通路は問題なし)

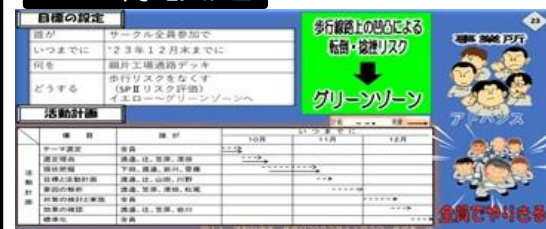
6現状把握



取り組みテーマをデッキ通路④対策にし
改善に向けて 取り組むことに決定しました
(デッキ通路幅基準800mm以上)
(デッキ現物幅 460mmから500mm)
又通路途中に昇降ステップ多数 歩行リスク有

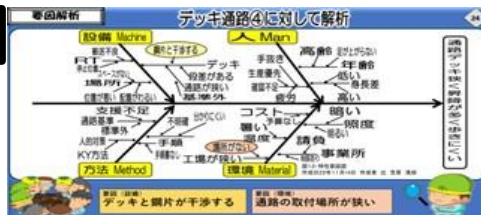
安全統一基準とリスク評価を行い
デッキ通路④は10点のイエローゾーン

7目標設定



転倒リスクありを5点以下
グリーンゾーンにする
目標を掲げ活動計画を組み
事業所と
全員参加で活動する

8要因解析

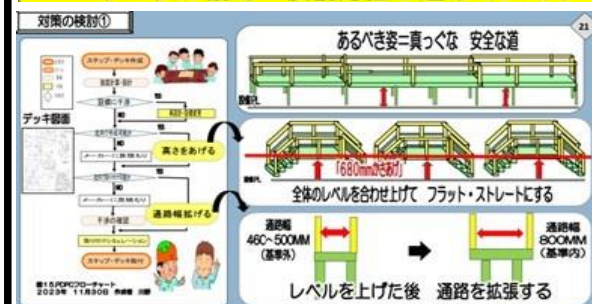


デッキ通路④に対して4Mで解析
通路狭く昇降が多く歩きにくいをあげ

設備から デッキと鋼片が干渉する
環境から 通路の取付場所が狭い
が挙げられました



9対策の検討・実施



デッキが狭く・昇降が多い要因として

鋼片がデッキ通路下をローラーにて搬送
デッキ通路横のコンベアーにて搬送
される為スペースがなく

デッキ通路と鋼片が干渉しないように
取付られているとのこと

解析のまとめとして

安全性より利便性を追求した結果と
設備・デッキ・鋼片の位置関係で
通路デッキが狭く・昇降が多いことが判りました

対策として

歩行しやすくする

通路デッキ

フラット・ストレート化を採用

私たちヤッターマンサークルと
事業所アドバンスサークルで役割分担し
全員参加で取り組みます

検討では

あるべき姿は真っ直ぐで安全な道

デッキ通路高さを上げる(680MM)
(フラット・ストレート化)

高さを上げたあとに通路を拡張する(800MM)

デッキ通路を高くすれば問題解決
できるが...

設備内の出入り口をどうすればよいか検討

作成イメージ案として介護職時代に使用していた
介護車両 可動デッキを応用できないか
メンバーに相談

アルミで軽量化して 階段を可動できるようにする
案で実施していくで決まり

設備変更届申請を行い
私達ヤッターマンで資材作製
事業所アドバンスサークルで現地据え付け
23年 冬工事にて実施しました



対策の実施では
デッキ通路を拡大フラット・ストレート化し
(通路幅を800mmに拡大)
(昇降ステップレス)

また 設備内への出入口は
アルミ昇降階段を作製・取付
(7Kg)
操業時＝アルミ階段上げて収納
保全時＝アルミ階段下げて設置
リングチェーンにて
手で上げ下げできるように対策実施です

試運転テスト問題なし

効果の確認では
新たに取り付けたデッキ
＋からくり式アルミ昇降階段を診断

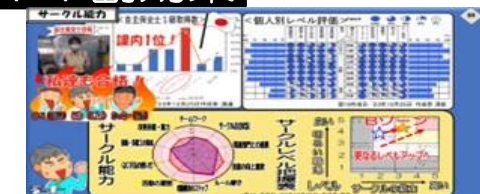


10 効果の確認



SP II リスク評価はグリーンゾーンへ安全DR合格
(5点以下)
課の3本柱の活動から作業者と現地現物の対話で
全員参加で目標達成しました
(現地現物で生きたヒヤリ)
(過去災害から学び)
(KY・STOP6＋GH)

11 副効果



副効果
自主保全1級合格
課NO1 取得率

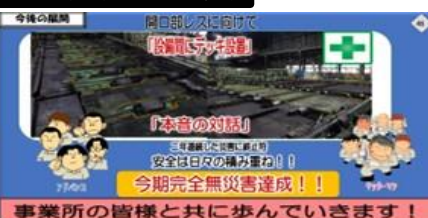
サークルLVもBゾーンへLVアップ

12 標準化



標準化では
デッキ・ステップ階段の点検
変化点管理教育
安全レベル評価・改定記録を実施

13 今後の展開



今後の展開は開口レスで
各設備間
デッキ取付実施してます
安全の足元から
最後に道をひらく

この活動での創意工夫件数		
実施済み提案	12	20千円
アイデア提案	15	
効果賞	10	